

第40回山口源新人賞が
決定しました

文化振興課
☎055-934-4812

戦後の日本現代版画界を代表するひとりで、本市ゆかりの版画家である山口源。その功績を顕彰し、芸術文化の向上を図る目的で設けられた山口源新人賞の第40回受賞者が決定しました。

作品の由来とモチーフに対する思い

作品名 「2020.9.16 16:14」



シルクスクリーン 縦124cm×横172cm

私は日々の中で何気なく撮影している自分の日常風景写真をもとにタブレットを使ってドローイングを描き、版画作品に展開しています。

今回の受賞作品のタイトルは写真を撮影したときの日付と時間です。私の日常風景作品のシリーズのタイトルは全て、もとした写真を撮影した日時としています。

受賞のコメント

受賞者

みやけ あおい
三宅 葵さん
(大阪府在住)



この度は名誉ある賞を頂戴し誠に光栄に存じます。

過去に制作した作品の中で最も思い入れのある大学院の修了制作である今作品が評価していただけたことを、大変嬉しく思います。

この春から社会人になり、学生のとときに比べ作品と向き合える時間が減ってしまった今の環境でも自分の中の意識と対峙し続けたいと思っています。

市民意識調査の結果を
お知らせします

生活安心課
☎055-934-4700

市では、市民の皆さんの意見や要望を今後の市政運営に反映するため、毎年度市民意識調査を実施しています。今年度の結果を一部抜粋し、その概要を紹介いたします。

Q 「ぬまづの宝100選」を知っていますか？

A 認知度は約5割。

40代以上では認知度が5割を超えていますが、30代以下の若年層においては認知度が低い傾向にあることがわかりました。



Q キャッシュレス決済を利用したことがありますか？

A どの年代でも6割以上の方が利用したことがある。

クレジットカード、電子マネーなどのキャッシュレス決済を利用したことがある人は全体で82.6%でした。年代別で最も利用率が低かった70代でも60%以上の方が利用したことがあり、キャッシュレス決済がかなり浸透していることがわかりました。

※その他結果の詳細は、市ホームページをご覧ください。 [広報ぬまづ](#) [検索](#)

Q 「省エネ・省資源行動」を実施していますか？

A 8割以上の方が「省エネ・省資源行動」を実践している。



86.3%の人が、マイバッグを持参する、使わない部屋や場所の消灯をする、ごみの分別に気を付けるといった「省エネ・省資源行動」を意識して実践していることがわかりました。

今後も一人でも多くの皆さんが継続して行動できるよう、積極的な情報発信等に努めていきます。

長年精進された技能者を称えて
令和5年度 沼津市技能功労者の表彰

商工振興課
☎055-934-4749

市では、長年にわたりひとつの職業に従事する職人の皆さんを、技能功労者としてその功績を称えています。今年度、受賞された建築大工や左官など19人の皆さんを紹介いたします。

建築大工 櫻井 謙治 (大岡)	整備士 森 信司 (石川)	鉄工 畠山 昭夫 (錦町)
左官 宮古 哲也 (平沼)	クリーニング職 川口 靖 (大手町)	水産物加工職 田内 克彦 (口野)
薫職 間宮 哲生 (志下)	理容師 海野 裕一 (市道町)	鈴木 康之 (下河原町)
畳職 柳本 光雄 (小諏訪)	内山 博文 (高沢町)	配電盤・制御盤組立工 大島 誠 (東原)
塗装看板工 米山 和良 (黒瀬町)	美容師 佐藤 みゆき (大岡)	段ボール製造工 杉山 やす子 (岡宮)
石工 眞島 一浩 (松長)	調理師 清野 三男 (吉田町)	
	斉藤 重昭 (大手町)	
	相磯 文安 (下香貫牛臥)	

※敬称は省略しています。
表彰を受けた皆さん、おめでとうございます。



受賞者の喜びの声

眞島 一浩さん (石工)

40年の長きにわたって、確かな技術力で、墓石や石碑の製作に励んでこられました。

沼津市技能功労者に選ばれて

石材業を営む眞島さんは、創業174年となる眞島石材工業(松長)の6代目です。墓石や石碑の製作のほか、墓石の耐震化を考え、コーキング施工を取り入れて安全安心な建立を行って来ました。



石材業は機械を使いながら作業することが主流となっているそうです。「昔は石を磨いたり字を彫ったりするのは全て手作業でした。今は主に機械を使いながら製作していますので、このたび技能功労者に選ばれたことに恐縮しています」と話してくれました。

思いを形にすることをこれからも

眞島さんは「墓石や石碑は100年先もその先も形に残るものだからこそ、依頼者の思いを受け止め、ひとつひとつ丁寧に製作しています」と話します。

港口公園にある、第二次世界大戦中、リトアニアでユダヤ人に「命のビザ」を発給した外交官・杉原千畝夫妻の顕彰碑を製作したのも眞島さんです。「顕彰碑建立に携わることができたのもご縁あってのことです。杉原夫妻の足跡をゆかりある沼津に刻むことができ光栄に思います。この先も真心込めて製作を続けていきたいですね」と力強く抱負を語ってくれました。

